

あさのますみ  
**浅野益美**



**売れるものをつくろう**

**質** 農業振興に根ざした製品の開発、生産や販売の指導体制をどうするののか。

**答** 産業経済部長  
4月に農業振興センターを設置しました。

豊肥振興局も加わり、補助事業や作物の推進など生産から販売までの課題を協議し、市場対策を行っています。

関係機関一体となり、豊後大野市の顔となる特産品の開発に努めていきたいと考えています。



▲新鮮な野菜がいっぱい（道の駅おおの）

**ふるさとの食材を**

**質** 給食センターが統合され、地元産品の利用が減ったとの声がある。地産地消の取り組みは。また、給食費の滞納問題をどうするのか。

**答** 教育次長  
調理場の規模拡大により、食材の納入量が増えたため、一度に確保することが困難になり、品目が少なくなっています。今後、生産者と協議して

地産地消を推進します。

食材費相当額を給食費として負担いただいています。現在約980万円の未収があります。保護者に啓発チラシを配布して改善を図っていきます。

ふかたせいぞう  
**深田征三**



**改革への体制は**

**質** 集中改革プランや総合計画では、「主体的で自立的な行財政運営をめざし、常に市民の目線に立ち、成果を重視した施策の展開を図る」とされている。

また、本年4月1日施行の改正『地方自治法』では、「助役は副市長制へ」「一般職員を会計管理者に置く」などとされた。

改革に向けた執行体制は。

**答** 市長

総合計画の目標達成に向けた各種事務・事業に取り組んでいるところであります。

改正『地方自治法』の規定や本市を取り巻く状況などを総合的に勘案し、執行体制を確立しています。

**どうまで…**

**質** 神楽会館に、支所や保健センター機能



▲国重要無形民俗文化財“御嶽神楽”（「2007全国乾しいたけ振興大会（7/8）」のイベントより）

を持たせる考え方が示されたが、建設審議会の答申との整合性は。

**答** 企画部長

審議会の「行政改革との整合性を図るよう」などの答申書を根拠に、公共施設の統廃合、つまりスクラップ・アンド・ビルドという観点から神楽会館建設を機に、将来的な支所・保健センター機能統合の考え方を示したものです。